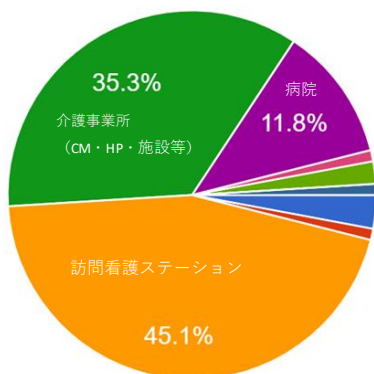


# 2023年6月6日(火) 緩和ケア研修 アンケート集計

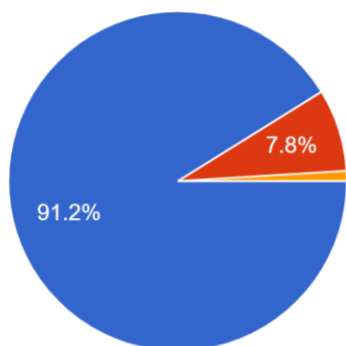
参加者192名（内関係者6名） 回答者102名 回答率54.8%

## 所属



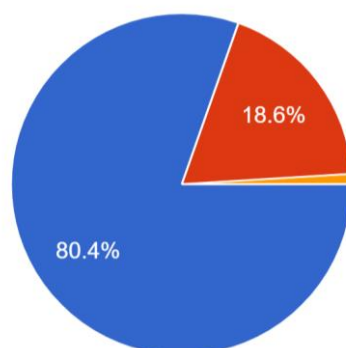
訪問看護ステーション 46名  
介護事業所 36名  
病院 12名  
診療所 3名  
地域ケアプラザ 1名  
在宅医療拠点 2名  
医療局 1名  
薬局 1名

## 本日の研修は今後の診療やケアに役に立ちますか



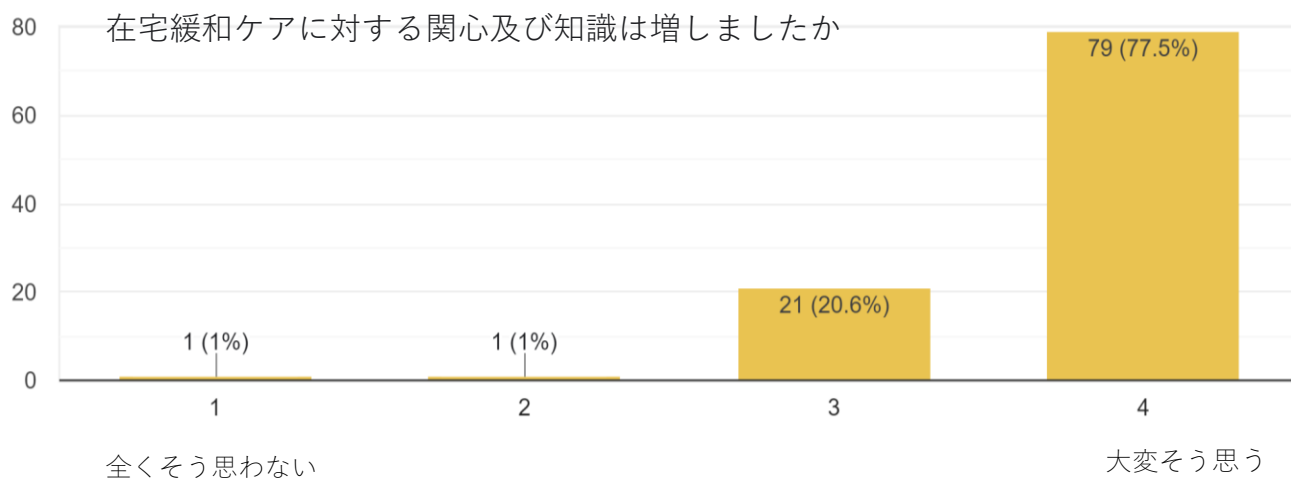
- 大変良かった
- 概ね良かった
- あまり良くなかった
- 全く良くなかった

## 三條先生の講演はいかがでしたか



- 大変役立つ
- まあまあ役立つ
- あまり役に立つとは思えない
- 全く役に立つとは思えない

## 在宅緩和ケアに対する関心及び知識は増しましたか



## 研修の感想 86 件の回答（一部抜粋）

- 事例を紹介していただきながらの講義で大変わかりやすかったです。ありがとうございました。
- 今後の開催も期待しています。
- 貴重な研修ありがとうございました。薬について詳しい資料があり非常に参考になりました。三條先生にはいつもお世話になっており非常に熱い思いをもった先生と感じていますが今日の先生は普段は見られないユーモアがある面が見られてとても良かったです。ありがとうございました。
- バッカル錠は名前だけは知っていましたが詳しく知らなかったので知れてよかったです。
- 貴重な研修会を企画頂きありがとうございました。大変勉強になる内容なので薬剤師会でも周知していきたいと思いますので今後とも宜しくお願い致します。
- ACPの大切さを改めて感じました
- 三條先生による講義を受けて緩和ケアについてとても勉強になりました。入職して2ヶ月の新米ですが、とても分かりやすくご本人様への寄り添いの気持ちが大切なことを学びました。ありがとうございました。
- 非がん患者様に使用する薬が保険適応のない物があり、選択肢が狭められるとは辛いです。早く非がんの終末期の方にも使用できるようになって欲しいと思いました。
- 先生のお人柄も分かり、安心して聴講させていただきました。人生最期の時、見守るご家族の心情に寄り添いながら、苦痛緩和していくことの難しさを常々感じております。昔に比べ、がん患者の緩和ケアは研修や使用できる薬剤など、選択肢も増えてきましたが、やはり非がん患者の緩和ケアには保険適応外の壁が聳え立っています。本日の講義を参考に明日からのケアに活かしたいと思います。
- 一人一人のニーズが違いそれぞれの時間が流れる中で、様々な選択をしながら行くことが必要だと思いました。ご利用者が取り残されないようなケアチーム作りが必要だと思いました。
- 緩和ケアの薬剤の使い方等振り返り学ぶことができたと思います。多職種連携の大切さを医師側も必要と感じて頂けているとのことで、今まで迷ったりしていたところもありましたが、速やかに連絡、連携していきたいと思います。
- 大変勉強になりました 在宅ターミナルに関わる中で、「なぜ先生はその処方をするのだろう、なぜ切り替えのタイミングを今と判断されたのだろう。自分もベースとなる知識を持ちたい」と思うことが度々ありました。そのようなことを学べる機会がなかなか無かったので、今回この研修に参加させていただき、本当にありがたく感じました。また、先生から「連携をしたいので、どんどんお電話ください」とお話しして下さったことも、心強く感じました。